

6年 道徳の年間指導計画例 (2018年～2019年)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 一年生のお世話係 —アフター・ユー— 〔心を受けつぐ〕 【主】 C よりよい学校生活、 集団生活の充実 【関連】 B 親切、思いやり	◎6年生としての役割を自覚し、学校生活をよりよく充実したものにしようとする。 【理解、判断力】 主人公が1年生との関わりから考えたことを通して、学校生活をよりよく充実したものにしようとしてきた先輩の思いが分かる。 【心情】 先輩から受け継いだものを大切に、よりよい学校づくりのために役立ちたいと心が動く。 【実践意欲と態度】 6年生としての役割を自覚し、学校生活をよりよく充実したものにしようとする。	1 年下の子の世話をした経験について話し合う。 2 「一年生のお世話係」を読み、「アフター・ユー」という言葉が受け継いできた心について考える。 3 6年生として果たすべき役割と意義について話し合う。 4 今日の学習から、6年生である自分の役割について考えたことをまとめる。	○学級活動 ・機会があれば、下級生の世話係を積極的に行わせ、その感想などを発表させておく。 ○道徳の授業 ・「一年生のお世話係 —アフター・ユー—」を読み、学校で自分たちが果たすべき役割について考えさせる。 ○学級活動や委員会活動 ・学級や学校のために自分ができることを考え、実行させる。 ・下級生の世話や委員会活動などで、自ら積極的に役割を果たすようにさせる。
4月	2. 勇太への宿題 〔自分を見つめる〕 【主】 A 個性の伸長 【関連】 A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分の特徴にはどんなものがあるのかを考え、短所を改め長所を伸ばし、自分を積極的に成長させようとする。 【理解、判断力】 人間はだれもが長所と短所を持っており、長所を伸ばし、短所を改めようとする中で自己実現に近づいていくことを理解する。 【心情】 自分の長所を生かすために、短所をしっかりと見極め、改善していこうとする勇太の心に共感する。 【実践意欲と態度】 自分も、短所を改め長所を伸ばし、成長するために積極的に努力していこうとする。	1 長所と短所について話し合う。 2 「勇太への宿題」を読み、長所と短所について考える。 3 長所や短所について考えたことを共有する。 4 自分の長所や短所について考える。	○道徳の授業 ・「勇太への宿題」を読んで、自分の特徴にはどんなものがあるのかを考え、短所を改め長所を伸ばし、自分を積極的に成長させるよう促す。 ○家庭学習 ・ワークシートなどを家庭に持ち帰り、家族から見て感じている児童自身の長所や短所についてのインタビュー活動に取り組ませる。 ○朝の会・帰りの会 ・各自がインタビューしてきたことについて発表させる。 ・「いいところ見つけ」を行い、自尊感情を高めさせる。
4月	3. 温かいおまんじゅう 〔本当の礼儀とは〕 【主】 B 礼儀 【関連】 B 親切、思いやり	◎礼儀の意味が分かり、礼儀正しく真心をもって人に接しようとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 相手に敬意をもち、真心をこめて人に接することが礼儀には大切だということが分かる。 【心情】 礼儀正しい人の心や行動に共感する。 【実践意欲と態度】 日常生活で、礼儀正しく真心をもって人に接しようという意欲をもつ。	1 「自分は礼儀を知っているか」について話し合う。 2 「温かいおまんじゅう」を読み、「本当の礼儀」について考える。 3 「本当の礼儀」についてまとめる。	○道徳の授業 ・「温かいおまんじゅう」を読み、「本当の礼儀」について考えさせる。 ○学級活動 ・「本当の礼儀」が表れるようなあいさつをしてみ、相手の様子や自分の気持ちの変化から感じたことをクラスで話し合わせる。 ○日常生活 ・日々接する周りの人たちに対し、礼儀正しく接するようさせる。
5月	4. 夢に向かって —三浦雄一郎— 〔夢に向かって〕 【主】 A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】 D よりよく生きる喜び	◎夢をもち、目標を立てることによってやる気や不撓不屈の心や自信などがわき上がることが分かり、自分も実践していこうとする。 【理解、判断力】 よりよい自分に向けて目標を立てることによって、やる気や不撓不屈の心が生まれ、それが自信となって自分を支えていくことが分かる。 【心情】 三浦さんの、夢に向かい、夢を実現した生き方に感動する。 【実践意欲と態度】 自分も、三浦さんのように夢に向かって努力していこうとする。	1 夢をかなえるために大切なことは何かを考える。 2 「夢に向かって —三浦雄一郎—」を読み、三浦さんの夢をもち続ける秘訣を考える。 3 三浦さんの生き方から学んだことをもとに、自分の夢を実現するためにどうしたらよいかを考える。	○道徳の授業 ・「夢に向かって —三浦雄一郎—」を読み、夢をもち、目標を立てることによってやる気や不撓不屈の心や自信などがわき上がることが分かり、自分も実践していこうとする。 ○総合的な学習の時間 ・三浦雄一郎さんのような夢を実現している人について調べて発表させる。 ○日常生活 ・自分の夢に向かって、計画を立てて実行させる。
5月	5. 陽子、ドンマイ! 〔信頼し合える友達〕 【主】 B 友情、信頼 【関連】 B 相互理解、寛容	◎友達と信頼し合える関係をつくるには、男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合うことが大切であることが分かり、自分も周りの友達と信頼し合える関係をつくっていかうとする。 【理解、判断力】 友達と信頼し合える関係をつくるには、男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合うことが大切であることが分かる。 【心情】 男女の隔てなく助け合い、仲間として認め合う野球チームの仲間たちの姿に感動する。 【実践意欲と態度】 そのような友達関係に憧れをもち、自分も周りにいる友達と信頼し合える関係を築いていこうとする。	1 友達と信頼し合うために大切なことを考える。 2 「陽子、ドンマイ!」を読み、友達と信頼し合うために大切なことについて考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・男女の隔てなく接するよう心がけさせる。 ○道徳の授業 ・「陽子、ドンマイ!」を読み、友達と信頼し合える関係をつくるために大切なことについて考えさせる。 ○日常生活 ・男女の隔てなく信頼し合う友達関係をつくるために、普段の生活で心がけるとよいことややっていきたいことを友達と伝え合わせる。 ○読書活動 ・友情について描かれている本を読んで、感想をクラスで話し合わせる。
5月	6. 鑑真和上 〔目標をもってやりぬく〕 【主】 A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】 A 真理の探究	◎より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけずにやり遂げようとする。 【理解、判断力】 最後までやり遂げようとする強い思いには、それを支える高い目標があることが分かる。 【心情】 多くの困難を乗り越えて目標に向かう、鑑真の強い思いに感動する。 【実践意欲と態度】 自分の目標を見つめ直し、くじけずにやり遂げようとする。	1 目標に向かって最後までやり抜くためにはどうすればよいかを考える。 2 「鑑真和上」を読み、大きな困難がありながらも日本に渡航しようとした鑑真の思いを話し合う。 3 自分の目標を見つめ直し、やり遂げていくにはどうすればよいかを考える。	○道徳の授業 ・「鑑真和上」を読み、より高い目標を立て、希望と勇気をもって、くじけずにやり遂げようとするにはどうしたらよいか考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・鑑真のように高い目標をもって行動した人が他にいないか、調べて発表させる。 ○日常生活・朝や帰りの会 ・自分の目標に向かって努力していることを、朝や帰りの会で発表させる。
5月	7. 本屋のお姉さん 〔真心をこめる〕 【主】 A 正直、誠実 【関連】 C 勤労、公共の精神	◎誠実に、明るく楽しく生活しようとする。 【理解、判断力】 まじめ(誠実)とは、真心を込めて相手のために尽くすことであり、誠実さは心を明るくし、周りの者の心まで温かくすることが分かる。 【心情】 誠実な人の生き方に、感動する。 【実践意欲と態度】 これまでの生活を振り返り、自分もまじめに取り組んできたことがあることを自覚し、まじめに、明るく生活しようという意欲をもつ。	1 「まじめ」という言葉から連想することを話し合う。 2 「本屋のお姉さん」を読み、「まじめ(誠実)」について考える。 3 まじめに取り組んだり、心を込めて行ったりしたことが、これまでの自分にもあったかどうか、振り返る。	○道徳の授業 ・「本屋のお姉さん」を読み、誠実に明るく楽しく生活しようとする。 ○特別活動 ・委員会や当番活動などで自分の活動を振り返るときに、自分の役割を意識して取り組んだことを自覚させ、まじめさを前向きに受け止める機会とさせる。 ○学級活動 ・学校生活の中で、友達の行動から、「まじめだな」「誠実だな」と思うことを見つけて、朝の会や帰りの会で発表させる。
6月	8. 世界がおどろく七分間清掃 〔働く人の思い〕 【主】 C 勤労、公共の精神 【関連】 C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎働くことのよさや大切さを知ると共に、自らも公共のために役立とうとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 働く意義や、社会に奉仕する喜びを理解する。 【心情】 働くことや社会に奉仕することの意義について理解し、実践している人の心に共感する。 【実践意欲と態度】 公共のために自分ができることをやってみようとする。	1 私たちの周りで働いている人が、どのような思いで働いているのか、話し合う。 2 「世界がおどろく七分間清掃」を読み、働く人の思いについて考える。 3 私たちの周りで働いている人たちの思いについて話し合い、自分たちにもできることを考える。	○道徳の授業 ・「世界がおどろく七分間清掃」を読み、働くことの意義について考えさせる。 ○日常生活 ・身近にいる大人に、どんな思いで働いているのか尋ねさせる。 ・公共のために自分ができることを考え、実行させる。 ○学校生活 ・係活動や委員会活動などで、自分にできる仕事を考えて実行させる。 ・働くことのよさについて、自分の経験をもとにクラスで話し合わせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
6月	9. カッコいいお父さん 〔支え合う家族〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎家族を支えるために働く父母の思いを理解し、敬愛すると共に、自分も家族を支えていこうとする。 【理解、判断力】 父母は家族への愛情と社会人としての自覚や責任をもって働いていることが分かる。 【心情】 家族のために働く父母を敬愛し、自分も支えになりたいという気持ちをもつ。 【実践意欲と態度】 自分も家族の一員としてできることを考え、進んで実行していこうとする。	1 「カッコいい人」とはどのような人だと思うか話し合う。 2 「カッコいいお父さん」を読んで、話し合う。 3 自分の家の人の思いについて考える。	○日常生活 ・日記などで家族に対する思いなどについて書かせる。 ・5年生のときに行った「家族の紹介」や「家族知ってるつもりピンゴ」など、『学びの足あと』や道徳のノートなどで、家族のことやそのときの自分の思いを振り返らせておく。 ○道徳の授業 ・「カッコいいお父さん」を読み、家族がどのような思いで働いているかを考えさせる。 ○家庭生活 ・自分の家庭で自分ができる仕事を見つけて実行させる。
6月	10. 技術で「障がい」をなくしたい ―遠藤 謙― 〔開発に願いをこめて〕 【主】A 真理の探究 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎真理を探究する大切さに気づき、自分も真理を探究しようとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 真理を探究することが技術の発展に役立ち、人々の生活をよりよくすることが分かる。 【心情】 真理を探究することの大切さに気づき、人々のためになることにすばらしさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分も、真理を探究しようとする気持ちをもつことができる。	1 研究を続けて、新たなものをつくり出した人について発表し合う。 2 「技術で『障がい』をなくしたい ―遠藤 謙―」を読み、遠藤さんの生き方について考える。 3 遠藤さんの生き方から、自分の生き方について考える。	○道徳の授業 ・「技術で『障がい』をなくしたい ―遠藤 謙―」を読んで、真理を探究する大切さに気づき、自分も真理を探究しようという気持ちをもたせる。 ○学級活動 ・人々のために研究を続けた人を調べ、その人の生き方から学んだことを紹介し合わせる。 ○夏季休業 ・パラリンピックで使用されるアイテムについて調べ、パラリンピックを支える技術について紹介させる。(自由研究) ・自分の課題を調べ、研究したことをまとめ発表させる。(自由研究)
重点主題：きまりの意義				
6月	11. 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」 〔マナーとルール〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎「マナー」と「ルール」がどう違うのかを考えることを通して、約束や法、きまりの意義を理解し、進んでそれを守ろうとする。 【理解、判断力】 ルールをマナーに高めていくためには、自他の権利を尊重しようとする気持ちが大切であることが分かる。 【心情】 過料制度を決めた千代田区の人たちの悩みに共感する。 【実践意欲と態度】 ルールは、自ら守ろうとすることが重要なことを自覚し、身の回りがあるルールを進んで守っていこうとする。	1 マナーとルールについて話し合う。 2 「マナーからルールへ、そしてマナーへ」を読み、マナーとルールについて考える。 3 今日の学習を、自分の言葉でまとめる。	○道徳の授業 ・「マナーからルールへ、そしてマナーへ」を読んで、マナーとルールについて考えさせる。 ○学級活動 ・学校や町にあるマナーやルールについて、それらがなぜあるのか、クラスで話し合わせる。 ○家庭学習 ・学級で話し合ったことを家族に話し、家族の中のマナーやルールについて話し合わせる。
7月	12. いらなくなったきまり 〔いらなくなったきまり〕 【主】C 規則の尊重 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎クラスのみんがが気持ちよく生活するために大切なことは何かを考えることを通して、きまりの意義について理解し、進んでそれを守り、自分の義務を果たしていこうとする。 【理解、判断力】 集団の皆が気持ちよく生活するために、一人ひとりが自分たちの問題であると考えて意識を高めることが大切であることを理解する。 【心情】 きまりがなくてもきれいになった学級文庫のよさに共感する。 【実践意欲と態度】 集団の皆が気持ちよく生活するために、ルールやマナーを進んで守ろうとする。	1 クラスのきまりについて話し合う。 2 「いらなくなったきまり」を読み、クラスのみんがが気持ちよく生活するために大切なことについて考える。 3 今日の学習から、自分の考えをまとめる。	○学級活動 ・学校や世の中に存在するマナーやルールについて、それらがなぜあるのか、理由を話し合わせる。 ○道徳の授業 ・「いらなくなったきまり」を読み、クラスのみんがが気持ちよく生活するために大切なことについて考えさせる。 ○学級活動 ・自分たちのクラスが気持ちよく生活するためにできることについて話し合い、実行させる。
7月	13. 自然のゆりかご 〔自然の知恵〕 【主】D 自然愛護 【関連】D 生命の尊さ	◎自然の偉大さを感じ、自然を大切にしながら共に生きていこうとする。 【理解、判断力】 エゾマツが自分の体を栄養にして子孫を育てることから、自然の命のつながりを理解する。 【心情】 エゾマツの林が長い長い時間の中で知恵を生み出し、小さな命を育てるためにみんなで命をつないでいることに感動する。 【実践意欲と態度】 地球に存在しているたくさんの自然の偉大な知恵についての理解や感動をもとに、共に生きていこうとする。	1 自然の偉大さについて話し合う。 2 「自然のゆりかご」を読み、自然の偉大さについて考える。 3 自分の言葉でまとめる。	○理科 ・「生物と環境」の学習で、動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境との関わりについての考えをもたせる。 ○道徳の授業 ・「自然のゆりかご」を読み、自然の知恵の偉大さについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・自然の偉大さを感じる本や映像を探し活動に取り組みさせる。 ・5年生で行った「自然環境を守る活動」について検討させ、改善案に取り組みさせる。
9月	14. ブランコ乗りとピエロ 〔広い心で〕 【主】B 相互理解、寛容 【関連】B 友情、信頼	◎謙虚な心で、自分と異なる意見や立場を受け止め、互いを理解しようとする。 【理解、判断力】 謙虚な心で相手から学ぶ姿勢を常にもつことの大切さが分かる。 【心情】 自分と異なる意見や立場を受け止め、互いを理解しようとすることのよさに感動する。 【実践意欲と態度】 相手の意見や立場を受け止め、互いを理解しようとする。	1 「広い心」について話し合う。 2 「ブランコ乗りとピエロ」を読み、「広い心」について考える。 3 考え話し合ったことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ブランコ乗りとピエロ」を読み、謙虚な心で、自分と異なる意見や立場を受け止め、お互いを理解しようとすることの大切さについて考えさせる。 ・サムとピエロの関係の変化から、意見や立場が違っていても、相手を受け入れることの大切さに気づかせる。 ○日常生活 ・日常生活や学校生活で感じた「広い心」を、道徳のノートに記入する。朝の会や帰りの会、学級通信などで「広い心」の例を共有させる。 ○学級活動 ・みんなが「広い心」で生活したら、どんなクラスになるかを考えて、朝の会や帰りの会で発表させる。
9月	15. 誠実な人 ―吉田松陰― 〔まっすぐな心〕 【主】A 正直、誠実 【関連】D よりよく生きる喜び	◎自分の心に忠実に行動し、誠実で明るい生活をしていこうとする。 【理解、判断力】 誠実な人には、うそやごまかしがなく、誠実な言動は人の心をつ打つということが分かる。 【心情】 誠実な人の生き方に感動する。 【実践意欲と態度】 誠実な人の生き方と自分の生き方を重ね合わせ、同じような心が自分にもあることが分かり、それを高めていこうとする。	1 「誠実な人」という言葉からどんな人をイメージするかについて想起する。 2 「誠実な人 ―吉田松陰―」を読んで、誠実に生きる意味について考える。 3 「誠実に生きる」とはどういうことかを考える。 4 誠実な人の生き方と、自分の生き方を重ねて考える。	○社会科 ・吉田松陰をはじめとする歴史上の人物について、その生き方や考え方について調べたり話し合ったりする学習を行って、歴史的背景をつかませておく。 ○道徳の授業 ・「誠実な人 ―吉田松陰―」を読み、「誠実な生き方」について考えさせる。 ○読書活動・日常生活 ・「誠実に生きた人」の話を探して読み、感想を話し合わせる。 ・誠実な態度で生活している児童を互いに評価させる活動を、帰りの会などで継続する。
9月	16. 松井さんのえがお 〔支える人の気持ち〕 【主】B 感謝 【関連】C 勤労、公共の精神	◎自分たちの生活は多くの人に支えられていることを知り、感謝しそれに応えようとする。 【理解、判断力】 自分たちの生活を支えてくれている人の存在や、その人たちの思いが分かる。 【心情】 自分たちの生活を支えてくれている人の気持ちを知り、感謝する気持ちをもつ。 【実践意欲と態度】 自分たちの生活を支えてくれている人に感謝し、それに応えるための活動をしようとする。	1 自分たちがしている下級生をお世話する活動を思い出して、話し合う。 2 「松井さんのえがお」を読んで、松井さんの思いについて話し合う。 3 自分たちがすべきことについて考える。	○道徳の授業 ・「松井さんのえがお」を読み、自分たちの生活は多くの人に支えられていることを知り、感謝しそれに応えようとする。 ○学級活動 ・自分たちを支えてくれている人たちの気持ちに応えるために、自分たちができることを考え、実行させる。 ○日常生活 ・生活の中で、人のためにできることを考え、実行させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
9月	17. 地球があぶない 〔自然を守る〕 【主】D 自然愛護 【関連】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	◎自然を守るために何ができるのかを考え、自分なりの方法で自然環境を大切にしようとする。 【理解、判断力】 地球のいたるところで自然破壊が起きていることと、その原因の多くは人間にあることを理解する。 【心情】 自然を守るためにはさまざまな方法があり、自分たちと同じような小学生が自然を守る活動に取り組んでいることを知り、その思いに共感する。 【実践意欲と態度】 人間が自然と共存していくために何が必要かを考え、自分にできる自然環境を大切に方法を実践しようとする。	1 教科書P.82～83の写真を見ながら自然破壊について話し合う。 2 「地球があぶない」を読み、自然を守ることについて考える。 3 自然を守ることについて話し合い、自分の考えをまとめる。	○理科 ・「生物と環境」の学習で、動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べさせ、生物と環境との関わりについての考えをもたせる。 ○道徳の授業 ・「地球があぶない」を読んで、自然破壊の現状について理解し、自然を守るために自分たちにできることを考えさせる。 ○総合的な学習の時間 ・自然を守るために活動している小学生の事例を調べて発表させる。 ・自分たちにできることについて話し合い、具体的に計画して実行させる。
10月	18. 本当にだいじょうぶ？ 〔「弱い心」をコントロール〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 善悪の判断、自律、 自由と責任	◎安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけようとする。 【理解、判断力】 自分の生活をよくしていくために、生活を見直すことが大切であることが分かる。 【心情】 美奈の弱い心に共感し、自分の中にも弱い心があることを自覚する。 【実践意欲と態度】 自分の中にもある弱い心を見つめ直し、生活を改善していこうとする。	1 「弱い心」を自分でコントロールするためには、どうしたらよいかを考える。 2 「本当にだいじょうぶ？」を読んで、「弱い心」をどのようにしていったらよいかについて考える。 3 自分の生活を振り返り、見直すことはないか考える。	○道徳の授業 ・「本当にだいじょうぶ？」を読んで、安全に気をつけることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り、節制に心がけようとする。 ○学級活動 ・年度や学期のはじめに1年間、1学期のめあてを決めさせる。 ・年度末や学期末に振り返りをさせて、次に生かせるようにさせる。 ○日常生活 ・カードなどを活用し、自分でやろうと決めたことが実行できているかどうかを振り返らせる。

重点主題：日本の伝統・文化を受けつぐ

10月	19. お茶の心 〔もてなす心〕 【主】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 【関連】B 礼儀	◎日本に古くから伝わる茶道に込められた「もてなす心」のよさが分かり、受け継いでいこうとする。 【理解、判断力】 茶道のような日本の伝統文化の中にあるもてなす心や、日本の文化のよさが分かる。 【心情】 茶道のような日本の伝統文化のよさについて感じ取る。 【実践意欲と態度】 茶道のような日本の伝統文化に関心をもち、大切に受け継いでいこうとする。	1 茶道に対するイメージを聞く。 2 「お茶の心」を読み、茶道に込められた「もてなす心」とはどんな心か考える。 3 「もてなす心」に代表される日本古来の文化や知恵には、どのようなものがあるだろうかという関心をもつ。	○道徳の授業 ・「お茶の心」を読み、日本に古くから伝わる茶道に込められた「もてなす心」のよさが分かり、受け継いでいこうとする。 ○総合的な学習の時間 ・身近にある伝統文化や、昔からある言葉などの由来について調べ、発表させる。 ○日常生活 ・日本の伝統行事や文化に興味をもち、大切にしようとする。
10月	20. いちばん近い自然「里山」 〔自然と調和した暮らし〕 【主】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 【関連】D 自然愛護	◎自然と調和する暮らし方をしてきた日本のよさに触れ、その精神を自分たちも大切にしていこうとする。 【理解、判断力】 日本人の、自然と調和する暮らし方のよさや大切さが分かる。 【心情】 自然と調和する暮らし方をしてきた日本のよさを感じる。 【実践意欲と態度】 受け継がれてきた日本の自然や文化を大切に、継承していこうとする意欲をもつ。	1 日本の自然のよさについて話し合う。 2 「いちばん近い自然『里山』」を読み、自然と調和した暮らし方とは、どのような暮らし方について考える。 3 里山を守ることが、なぜ大切なのかについて考える。 4 自然と調和して暮らしていくために、自分たちにできることを考える。	○道徳の授業 ・自然と調和する暮らし方をしてきた日本のよさに触れ、その精神を自分たちも大切にしていこうとする。 ○総合的な学習の時間 ・里山や身近な自然について調べさせる。 ・図書や新聞記事等から、自然破壊や自然と人間の共存について書かれたものを探し、発表させる。 ○日常生活 ・日本に伝えられてきた暮らし方について調べ、発表させる。
10月	21. きみの声が聞きたい 〔新たな方法を求めて〕 【主】A 真理の探究 【関連】A 希望と勇気、努力と 強い意志	◎あきらめずにくふうし、真理を探究する大切さに気づき、自分も真理を探究しようとする気持ちをもつ。 【理解、判断力】 患者のために新しい方法をくふうし、勉強し続ける神谷さんの姿から、真理を探究する姿勢の大切さが分かる。 【心情】 人のために真理を探究しようとする心に感動する。 【実践意欲と態度】 自分も真理に近づくために努力し、努力や挑戦をしようとする気持ちをもつ。	1 前回の「真理の探究」の授業を思い出す。 2 「きみの声が聞きたい」を読んで、真理を探究しようとする心について話し合う。 3 神谷さんの生き方から、自分の生き方について考える。	○道徳の授業 ・「きみの声が聞きたい」を読んで、真理を探究しようとする心について話し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・命を救うために研究や試みを続けた人について調べて発表させる。 ・医学以外の分野でも、研究や試みを続けた人について調べて発表させる。 ○読書活動 ・学級文庫に、「真理を追究している人」や「新しい方法を生み出したり挑戦したりした人」の伝記や本を置き、そのような生き方をした人達を知る機会や環境をつくる。
11月	22. これが日本 〔日本のよさを大切に〕 【主】C 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 【関連】D 感動、畏敬の念	◎日本の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。 【理解、判断力】 日本には、人々がこれまでに長い時間をかけて大切に育んできた伝統文化や自然が多くあることが分かる。 【心情】 日本の伝統文化や自然を誇りに思い、守りたいと思う。 【実践意欲と態度】 日本のよさを受け継いでいこうとする意欲をもつ。	1 自分が思う日本のよさを発表する。 2 「これが日本」を読んで話し合う。 3 授業を通して考えたことや気づいたことをまとめる。	○道徳の授業 ・「お茶の心」「いちばん近い自然『里山』」の学習や発展的な調べ学習により、日本の文化や自然、日本人の心のよさについて知る。 ○道徳の授業 ・「これが日本」を読んで、日本の伝統や文化のよさについて話し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・身近にある伝統文化や、昔からある言葉の由来について調べ、発表させる。
11月	23. フーバーさん 〔世界の人々と共に〕 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】B 相互理解、寛容	◎外国の人々や文化をよく理解し、日本人としての自覚をもって、世界の人々と関わっていこうとする。 【理解、判断力】 お互いの国をよく知り、認め合うことが国際親善につながる事が分かる。 【心情】 自分の国の姿を正しく知ってほしいと願う人の心に共感する。 【実践意欲と態度】 外国の歴史や文化について関心をもち、世界の人々と積極的に関わっていこうとする。	1 国際理解について考える。 2 「フーバーさん」を読んで、世界の人々と共に生きるために大切なことについて話し合う。 3 外国の人々と共に生きていくために大切なことについて話し合う。	○日常生活・読書活動など ・世界や日本を知る図書を紹介して貸し出ししたり、読書タイムなどで読ませたりする。 ○家庭学習 ・自分が行ってみたい国とその理由について考えさせる。 ○道徳の授業 ・「フーバーさん」を読んで、外国のことをよく知ること、認め合うことの大切さについて考えさせる。 ○家庭学習・日常生活 ・自分が関心のある国について調べ、その国の人や、行ったことのある人から話を聞かせる。 ○総合的な学習の時間や外国語活動など ・世界の国々と人々の暮らしについて調べ、発表したりポスターにしたりさせる。
11月	24. 六千人の命を救った決断 —杉原千畝— 〔正義をつらぬく心〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】A 希望と勇気、努力と 強い意志	◎だれに対しても公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めようとする。 【理解、判断力】 杉原千畝が、自らの困難を承知の上で、自分の信じる正義を貫き通したことが分かる。 【心情】 多くの人命のために、自分の信念を貫いた杉原千畝の生き方に感動する。 【実践意欲と態度】 だれに対しても公正、公平な態度で接し、正義を実現しようとする。	1 「正義」とは何かについて考える。 2 「六千人の命を救った決断 —杉原千畝—」を読み、杉原千畝がなぜビザを発行したのかを考える。 3 杉原千畝の生き方から学んだことについてまとめる。	○社会科 ・社会科の授業で戦争の歴史について学んだり、杉原千畝について調べさせたりする。 ○道徳の授業 ・「六千人の命を救った決断 —杉原千畝—」を読み、正義について考えさせる。 ○学級活動・読書活動 ・杉原千畝の生き方から学んだことを確認し、自分たちの生活にどう生かしていきたいか発表させる。 ・杉原千畝のように、正義を貫いて行動した人を探して、発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
11月	25. すあしにサンダルの天使 —マザー・テレサ— 〔よりよく生きる喜び〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】D 感動、畏敬の念	◎人間にはよりよく生きようとする心の強さや気高さがあることを理解することを通して、人間のすばらしさを感じ、自分もよりよく生きていこうとする。 【理解、判断力】よりよく生きようとするマザー・テレサの心の強さや気高さを理解する。 【心情】貧しい人々を救うために活動を続けたマザー・テレサの生き方に感動する。 【実践意欲と態度】マザー・テレサと同じような心が自分にもあることに気づき、よりよく生きていこうとする。	1 マザー・テレサについて知っていることを話し合う。 2 「マザー・テレサ」を読み、マザー・テレサの思いについて考える。 3 自分の生き方について考える。	○総合的な学習の時間・読書活動 ・マザー・テレサについてのエピソードを収集させる。 ・マザー・テレサについて書かれた書籍を読ませる。 ○道徳の授業 ・「すあしにサンダルの天使 —マザー・テレサ—」を読んで、マザー・テレサの思いについて考えさせる。 ○総合的な学習の時間・読書活動 ・マザー・テレサの言葉から感じたことをまとめさせる。 ・マザー・テレサのように他の人のためによりよく生きようとしている人物についての書籍を集め、それらを紹介するブックトークに取り組みさせる。
12月	26. 命のおにぎり 〔温かい心〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎親切な行為は、困っている人を放っておけない心から生まれていることが分かり、自分も人に対して親切な行動をしようとする。 【理解、判断力】仮設住宅の人がしたことは、困っている人を放っておけずに、自分にできることをしようとする心から生まれた行動であるということが分かる。 【心情】仮設住宅の人や、紙芝居を作った人たちがもっている、困っている人を放っておけずに自分にできることをしようとする心に感動する。 【実践意欲と態度】親切で温かい心が自分にもあることを自覚し、人に対して親切な行動をしようとする。	1 人の温かさを感じる時はどのようなときか話し合う。 2 「命のおにぎり」を読んで、親切な行為と温かな心との関係を考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・困っている人がいたら、その人に必要なことを考えて行うよう話す。 ○道徳の授業 ・「命のおにぎり」を読んで、親切な行為は、困っている人を放っておけない心から生まれているということが分かり、自分も人に対して親切な行動をしようとする。 ○学級活動 ・温かな心が伝わったり広がったりした例が他にもあるか、新聞や本から探して、困っている人を放っておけない心について話し合わせる。
12月	27. 森川君のうわさ 〔かたよらない心〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】B 親切、思いやり	◎だれに対しても偏見をもつことなく公正、公平に接し、正義を実現することで、いじめのないクラスにしようとする。 【理解、判断力】噂による偏見をもち、だれに対しても公正、公平な態度で接することの大切さを理解する。 【心情】正義を貫けない弱さが自分たちにもあることを感じ、その弱さを克服したいと思う。 【実践意欲と態度】公正、公平を希求する心が正義の実現には大切なことであると理解し、いじめのないクラスの実現に向けて努力しようとする。	1 道徳的価値について考えることを通して、課題意識をもってねらいとするテーマに取り組む。 2 「森川君のうわさ」を読み、いじめをなくすために大切な心とは何かを考える。 3 いじめのないクラスにするためにはどんな心が大切か、話し合う。	○道徳の授業 ・「森川君のうわさ」を読み、だれに対しても偏見をもつことなく公正、公平に接し、正義を実現することで、いじめのないクラスにしようとする。 ○総合的な学習の時間 ・「いじめのないクラス」にするために、どんなことを心がけたり実行したりすればよいか、話し合わせる。 ○学級活動と日常生活 ・仲間はずれや差別的な言動を厳しく見つけていく雰囲気をつくり、機会あるごとに、話し合ったり、人権問題についての学習を深めたりさせる。
1月	28. めざせ、百八十回！ 〔自分や友達のよさを見つめて〕 【主】A 個性の伸長 【関連】B 友情、信頼	◎自分の特徴を知って、悪いところを改め、よいところを積極的に伸ばそうとする。 【理解、判断力】だれにでも長所と短所があることや、相手のよさを自分の成長につなげられることが分かる。 【心情】友達のよさに気づき、積極的に自分の成長につなげようとする主人公の心に共感する。 【実践意欲と態度】友達のよさを見つけ、積極的に自分の成長に生かそうとする。	1 愛菜と奈々子の特徴を知り、自分はどちらに近いかを話し合う。 2 「めざせ、百八十回！」を読んで、自分や友達のよさを話し合う。 3 自分の短所を改め、長所を伸ばすために、大切にしていきたいことをまとめる。	○道徳の授業 ・「めざせ、百八十回！」を読んで、現時点での自分の長所や短所を見つめ、よいところを積極的に伸ばそうとさせる。 ○学級活動 ・学級全員のよさを出し合い、自分の短所を改めるために取り入れたい友達の長所を紹介し合わせる。 ・卒業までに、短所を改め長所を生かし、自分や集団の成長につなげることを決め実行させる。 ○体育の授業 ・教材の中の長縄のように、卒業までに学級全体で目標に向かって取り組むことを決め、「めざせ、百八十回！」で学んだことを大切にしながら取り組ませる。
1月	29. 最後のひと葉 〔相手を思う、とうとい心〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】D 生命の尊さ	◎親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれていることが分かり、自分にできる精一杯のことをしようとする。 【理解、判断力】ベアマンの行為は、人のことを心配し、自分のことのように大切に思う心から生まれたことが分かる。 【心情】ベアマンが人のことを思っていた行為に感動する。 【実践意欲と態度】人を思う心が自分にもあることを自覚し、人に対して自分にできる精一杯のことをしようとする。	1 「思いやりがある人」とはどのような人か考える。 2 「最後のひと葉」を読んで、ベアマンやスウの行為と、相手を自分のことのように思う心とのつながりを考える。 3 学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・人のことを思いやり、自分と同じように大切にしようとする態度で生活するよう促す。 ○道徳の授業 ・「最後のひと葉」を読んで、親切な行為は、人のことを自分のことのように大切に思う心から生まれていることが分かり、自分にできる精一杯のことをしようとする。 ○学級活動・読書活動 ・人のことを思いやり、行動している人を、身近にいる人から見つけて、ベアグループで紹介し合う場を設定し、伝え合わせる。 ・今まで読んだ本や国語の教科書に出てくる物語の中から、相手を思いやる心をもつ人を見つけて紹介し合わせる。
重点主題：命がかがやかせて				
2月	30. 生命のメッセージ 〔心の中で生き続ける命〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎生命が人とのつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、限りある生命を懸命に生きようとする。 【理解、判断力】家族を失った鈴木さんの悲しみから、生命のかけがえのなさが分かる。 【心情】失われても心の中で生き続ける命の存在に感動する。 【実践意欲と態度】鈴木さんの手紙から、受け継がれた自分の命を大切にしようとする。	1 「生命のメッセージ展」について知る。 2 「生命のメッセージ」を読み、かけがえのない命について考えていく。 3 自分は、どのようにして命を輝かせたいか考える。	○道徳の授業 ・「生命のメッセージ」を読み、生命の尊さについて考えさせる。 ・鈴木さんのメッセージから、親から受け継がれた自分の命を大切にしようとする。 ○学級活動 ・命がかがやかせている人を見つけ、紹介するコーナーを教室に設定する。朝や帰りの会で、どんなところが命を輝かせていると感じるのか意見交流をさせる。 ○日常生活 ・自分の家族を大切に、感謝の思いを伝えさせる。
2月	31. 命と向き合う人生 〔命のとうとさ〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】D 自然愛護	◎生きているもの全ての生命が、かけがえのない、尊いものであることを理解し、生命を大切にしようとする心をもつ。 【理解、判断力】生きているもの全ての生命が、かけがえのない尊いものであることが分かる。 【心情】生命を救い、守り抜こうと努力する坂本さんの姿に感動する。 【実践意欲と態度】生命を救い、守り抜こうとする坂本さんの生き方から、生命を大切にしようとする気持ちをもつ。	1 教科書P.144の新聞記事を見て、坂本さんの活動について予想してみる。 2 「命と向き合う人生」を読んで、動物の命を救おうとする坂本さんの生き方について考える。 3 坂本さんの生き方から考えたことをまとめ、交流する。	○道徳の授業 ・「命と向き合う人生」を読み、坂本さんの行動や思いから、命の尊さについて理解させる。 ・獣医師を目指す坂本さんの姿から、自分たちがどう生きるかという生き方について考えを深めさせる。 ○総合的な学習の時間 ・動物や人の命を守るために活動している人について調べ、紹介し合わせる。(キャリア教育との関連を図る。)
2月	32. 負けないで 〔かがやく命〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎かけがえのない命の大切さを理解し、命を輝かせて生きようとする心をもつ。 【理解、判断力】家族のために演奏する瑠璃さんの思いから、命がかけがえのないものであることを理解する。 【心情】瑠璃さんの生き方から、精一杯命を輝かせて生きることのすばらしさに感動する。 【実践意欲と態度】自分もかけがえのない命を大切に、命を輝かせて生きようとする気持ちをもつ。	1 「命がかがやかせるといふ生き方について考えさせる。 2 「負けないで」を読み、命を輝かせて生きるとはということかについて考える。 3 今日の学習から学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「負けないで」を読み、瑠璃さんの生き方から、命の大切さを理解し、命を輝かせて生きようとする心をもたせる。 ・瑠璃さんの生き方から、自分も命を輝かせて生きるよう促す。 ○学級活動 ・「生命のメッセージ」「命と向き合う人生」「負けないで」の3つの教材から、命について学んだことを新聞にまとめさせる。 ○総合的な学習の時間 ・自分を輝かせて生きることについて、日常生活を振り返って考えさせる。また、将来の自分の夢や職業に向かってできることを考えさせる。(キャリア教育との関連を図る。)

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
2月	33. 大空に飛び立つ鳥 〔本当の自由〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎本当の自由とは何かを理解し, 規律ある行動をとろうとする。 【理解, 判断力】 自分の心を律し, 規律ある行動の中にある本当の意味での自由が分かる。 【心情】 自分たちで律することで得られる, 本当の意味での自由な行動のよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の生活を振り返り, 自由を大切に, 規律ある行動をしようとする。	1 きまりがあることで「自由ではない」と感じたことがないか話し合う。 2 「大空に飛び立つ鳥」を読んで, 本当の自由について考える。 3 「本当の自由」という言葉のもつ意味について考える。	○道徳の授業 ・「大空に飛び立つ鳥」を読んで, 「本当の自由」と「自分勝手」の違いや, これから自律した生活のために大切なことについて考えさせる。 ○学級活動・学校行事 ・朝の会や帰りの会で日頃の自分たちの生活を振り返って「自由と規律」について考え, 自分たちはこれから中学生になる上でどんな行動が大切かについて話し合わせる。 ○日常生活 ・学級活動の中で, 自由と自律を大切にするために決定したことを実行させる。 ・自律的な行動によって変化や成長があったことなどについて, 家族で話し合わせる。
3月	34. 青の洞門 〔清らかな心〕 【主】D 感動, 畏敬の念 【関連】D よりよく生きる喜び	◎人間の心の中には弱さを認めながらもよりよく生きようとする強さがあることに感動し, その心の気高さに畏敬の念をもつ。 【理解, 判断力】 了海のように, よりよく生きようとする強い気持ち, 人間が本来もっている力を超えるような力を生み出すことを理解する。 【心情】 罪を犯したことを悔い改め, 21年もの間洞穴を掘り続けた了解の心の気高さに感動する。 【実践意欲と態度】 人間の心の優しさや温かさなどの気高いものに対して, 畏敬の念をもって生きようとする。	1 「美しいもの」について話し合う。 2 「青の洞門」を読み, 人間の心の美しさについて考える。 3 人間の心の美しさについて考える。	○総合的な学習の時間 ・よりよく生きようとしている人について調べさせる。 ・各自が調べてきたことについて発表し, 感想を共有させる。 ○道徳の授業 ・「青の洞門」を読んで, 人間のもつ清らかな心のように目に見えない美しさについて考えさせる。 ○学級活動と読書活動 ・了海のような, 美しい心をもっている人を探させる。 ・了海のように清らかな心をもっている人物について書かれた書籍を集め, それらを紹介するブックトークに取り組ませる。
3月	35. わたしは ひろがる 〔わたしは ひろがる〕 【主】D よりよく生きる喜び 【関連】C よりよい学校生活, 集団生活の充実	◎生きる喜びを感じながら, 自分の考えや行動を広げ, よりよく生きようとする。 【理解, 判断力】 人間は, 他者との関わりの中で, 自分の考えや行動を広げながら成長していくことが分かる。 【心情】 他者との関わりの中で自分が成長してきたと実感している主人公の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自分のことを振り返り, 自分の考えや行動を広げ, よりよく生きようとする。	1 「わたしは ひろがる」という題名について考える。 2 「わたしは ひろがる」を読んで, よりよい生き方について考える。 3 「自分をひろげる」にはどうすればよいか話し合い, 自分の考えをまとめる。	○家庭学習・授業の前日 ・「学びの足あと」や道徳のノートなどで, これまでに学習してきたこと, 自分の考えなどを振り返らせておく。(事後に行ってもよい。) ・これまでの学習の中で, 感動した教材, その理由などを道徳のノートなどに記述させておく。 ○道徳の授業 ・「わたしは ひろがる」を学習することを通して, 自分の心を見つめ, どうすれば自分にとってよりよい生き方ができるかを考えさせる。 ○日常生活 ・道徳のノートを振り返り, 「自分はどのようにひろがってきたのだろうか。」について考えさせる。 ・卒業に向けて, 自分と人との関わりについて考え, よりよい学校生活を送ろうという思いを広げさせる。
付録	36. 友のしょうぞう画 〔友への思い〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】A 正直, 誠実	◎真の友情は, 相手の立場に立って寄り添い, 互いに相手の幸せを願う心から生まれていることが分かり, 自分も真の友情を育んでいこうとする。 【理解, 判断力】 真の友情とは, 相手の立場に立って寄り添い, 互いに相手の幸せを願う心から生まれていることが分かる。 【心情】 「ぼく」と正一の, 互いに相手の幸せを願う姿に感動する。 【実践意欲と態度】 二人のような友達関係に憧れをもち, 自分も周りにいる友達と真の友情を育んでいこうとする。	1 真の友情とはどのような友情か考える。 2 「友のしょうぞう画」を読んで, 二人の友情は真の友情といえるかどうか考える。 3 本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。	○日常生活 ・日頃から相手の立場に立って行動するように心がけさせる。 ○道徳の授業 ・「友のしょうぞう画」を読み, 真の友情とはどのような友情かを考えさせる。 ○日常生活 ・真の友情を育むために, 普段の生活で心がけるとよいことややっていきたいことを友達と伝え合わせる。 ○読書活動 ・友情について描かれている本を読んで, 感想をクラスで話し合わせる。
付録	37. あやまってすむことじゃない 〔広い心〕 【主】B 相互理解, 寛容 【関連】B 親切, 思いやり	◎相手の過ちに対して, 謙虚な心, 広い心で受け止め, 広い心で人と接していこうとする。 【理解, 判断力】 相手の過ちに対して, 自分にも同様のことがあることから, 広い心で接することの大切さが分かる。 【心情】 失敗をした人を許すことのよさを感じるができる。 【実践意欲と態度】 人は失敗することがあることを自覚し, 広い心で人と接していこうとする。	1 よりよい人間関係を築くために必要なことを考える。 2 「あやまってすむことじゃない」を読み, 「謙虚な心」「広い心」について考える。 3 「広い心」をもつことの大切さを, 自分の生活とつなげてまとめる。	○道徳の授業 ・「あやまってすむことじゃない」を読み, 相手の過ちに対して, 謙虚な心, 広い心で受け止め, 広い心で人と接していこうとさせる。 ○学級活動・日常生活 ・「広い心で接してみようウィーク」をつくり, 1週間の中で, 「広い心」で接することができたらワークシートに記入させる。「広い心で接してみようウィーク」終了後, 朝の会や帰りの会で, 紹介させる。
付録	38. 花びんのある駅 〔みんなのために〕 【主】C 勤労, 公共の精神 【関連】B 親切, 思いやり	◎公共の役に立つ喜びや意義を感じ, 社会の一員としてできることを進んで行おうとする。 【理解, 判断力】 公共のために役立つことには, 喜びや意義があることが分かる。 【心情】 公共のために役に立つことをした主人公の喜びに共感する。 【実践意欲と態度】 社会の一員としての自覚をもち, 公共のために積極的に行動しようとする。	1 「みんなが使う場所」について考える。 2 「花びんのある駅」を読み, 公共の役に立つ喜びや意義について考える。 3 学習を通して考えたことをまとめる。	○道徳の授業 ・「花びんのある駅」を読み, 公共の役に立つ喜びや意義について考えさせる。 ○学級活動 ・「みんなが使う場所」を気持ちよく使うために, 自分ができることを考えて実践させる。 ○特別活動 ・自分たちの係活動や委員会活動などを見直し, よりよい活動内容を考えて実践させる。
付録	39. 町おこしプラン 〔ふるさとのよさ〕 【主】C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 【関連】A 真理の探究	◎郷土や日本の伝統と文化を大切に, 先人の努力を知り, 郷土を愛する心をもつ。 【理解, 判断力】 主人公が町おこしプランを考えることを通して, 町に対する愛着が生まれたことが分かる。 【心情】 教材の登場人物の言動から, 自分も自分たちの町や地域のよさや特色を調べてみたいと心が動く。 【実践意欲と態度】 大切にしたい町のよさを考えることを通して, 先人の努力を知り, 郷土に愛着をもって, 積極的に地域と関わっていこうとする。	1 自分たちの住んでいる町のよさについて話し合う。 2 「町おこしプラン」を読み, 正子の気持ちの変化について話し合う。 3 自分たちの町のよさをもう一度考え, 話し合う。 4 今日の学習から, 自分たちの町のよさについて考えたことをまとめる。	○道徳の授業 ・「町おこしプラン」を読み, 自分たちの町を見つめ直し, 大切にしていきたいことは何かを考えさせる。 ○特別活動や学級活動 ・実際に, 自分たちの町の「町おこしプラン」を考え, 考えたプランを紹介し合わせる。 ○総合的な学習の時間 ・自分たちの町のよさや歴史について, より深く調べさせる。
付録	40. 羽ばたけ, 折り鶴 〔命と平和〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】D 感動, 畏敬の念	◎生命は, 多くのつながりの中にあり, かけがえのないものであることを理解し, 自他の生命を尊重しようとする。 【理解, 判断力】 戦争は, かけがえのない生命を簡単に奪うものだ分かる。 【心情】 もっと生きたいと願う禎子さんの思いや, 命を尊び平和を願う人々の思いに共感する。 【実践意欲と態度】 自他の生命を尊重し, 平和な世界を築こうとする。	1 「原爆の子の像」について知っていることを話し合う。 2 「羽ばたけ, 折り鶴」を読み, 命と平和について考える。 3 命や平和の大切さについて, 話し合う。	○総合的な学習の時間・社会科 ・第二次世界大戦や, 戦時中の日本の様子について調べさせる。 ○道徳の授業 ・「羽ばたけ, 折り鶴」を読み, 命と平和について考えさせる。 ○学級活動 ・戦争に関する本や資料を探して読んだり視聴したりして, 命の大切さについて話し合わせる。